

これからの聾史研究

佐藤 聖

☆各分野に活躍したろう者

杉山杉風【1647-1732】

俳人。松尾芭蕉の弟子。

正保4年3月生まれ。日未詳。享保17年6月13日没。

青木木米【1767-1833】

江戸時代後期の京焼の陶工、文人画家。

明和4年生まれ。月日未詳。天保4年5月15日没。

「聾米」と名乗っていた。東京国立博物館、京都国立博物館などにて作品が公開されている。

谷三山【1802-1867】

盲聾の儒者。

享和2年生まれ。月日未詳。慶応3年12月11日没。

奈良県橿原市に生家が保存されている。

山縣二承【1811-1879】

画家。

文化8年生まれ。月日未詳。明治12年1月10日没。

宇都宮黙霖【1824-1897】

学僧。

文政7年9月生まれ。日未詳。明治30年9月15日没。

富岡鉄斎【1836-1924】

日本画家。

天保7年12月19日生まれ。大正13年12月31日没。

兵庫県宝塚市に「鉄斎記念館」という建物があり、多くの作品が一般公開されている。

堤等琳【?-?】

絵師。

享保～天明時代の人？「聾等琳」と名乗っていた。

杉敏三郎【1845-1877】

吉田松陰の実弟。

弘化2年10月6日生まれ。明治9年2月1日没。

村上鬼城【1865-1938】

俳人。

慶応元年5月17日生まれ。昭和13年9月17日没。

群馬県高崎市に「鬼城草庵」が保存され、その隣に「村上鬼城資料館」を併設してある。多くの句碑が高崎市に、群馬県外にも建っている。

上記に紹介したろう者の業績、経歴などを明らかにするために調査していく。

☆「聾」と「啞」とその異体字

漢和辞典などで調べた結果を報告する。

☆戦前の「聾学校と聾啞協会」

大正5年発行された「内国聾啞学校一覧表」は、大正時代初期の日本における聾啞学校の様子などを知ることができる、貴重な印刷物である。昭和13年の「全国聾啞学校一覧表」と昭和15年現在の「全国聾啞学校手話口話状況一覧」も併せて調査したいと思う。

○樺太

日本が占領していた頃、盲啞学校が実在した。昭和6年、豊原（現在のユジノ・サハリンスク）に豊原盲啞学校が開院された。昭和14年7月、樺太盲啞学校と改称。それに関する史料が少なく、未詳。

○満州

日本が占領していた頃、大連・新京（現在の長春）に盲啞学校が実在した。昭和14年、満州国新京聾啞学院が開院されたが、その以後の史実は未詳。

○朝鮮

「内国聾啞学校一覧表」（大正5年発行）によると、朝鮮半島には、2校実在したと判明できる。大正11年3月発行された「朝鮮盲啞者統計要覧」は、20世紀に入った頃の朝鮮半島におけるろう者の様子などを知ることができる、貴重な印刷物である。

○台湾

「内国聾啞学校一覧表」（大正5年発行）の欄外に明記されているが、詳しいことは分からない。昭和15年現在の「全国聾啞学校手話口話状況一覧」によると、台湾には、2校実在したと判明できる。

【関連事項】

ヘレン・ケラー氏の訪日（昭和12年）

西川親娘の全国行脚

☆ろう者のスポーツ

- ・戦前にはどうあったか？
- ・日本ろうあ体育協会設立の経緯

☆「サイレント」新聞を出版していた、聴障新聞社

☆最近の動き

小岩井是非雄氏の銅像完成（長野・松本/2000.06）

富岡鉄斎展（富山/2000.08）

横尾義智資料展・横尾義智記念館とその周辺整備（新潟・安塚/2000.08）

【参考文献】

膨大であるため、載せられない無礼をお許し下さい。